

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 17 年 1 月 6 日 (2005.1.6)

【公開番号】特開 2000-264834 (P2000-264834A)  
 【公開日】平成 12 年 9 月 26 日 (2000.9.26)  
 【出願番号】特願 平 11-112728  
 【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 K 7/48

A 6 1 K 7/00

【F I】

A 6 1 K 7/48

A 6 1 K 7/00 X

A 6 1 K 7/00 K

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 2 月 10 日 (2004.2.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

米糠を酸性中性媒体で抽出して得られる抽出物を配合したことを特徴とする美白化粧品。

【請求項 2】

酸性水性媒体の pH が 5 以下である請求項 1 に記載の美白化粧品

【請求項 3】

酸性水性媒体の pH が 1 ~ 4 である請求項 2 に記載の美白化粧品

【請求項 4】

水性媒体として、水又は水と水混和性有機溶媒との混合物を用いる請求項 1 から 3 に記載の美白化粧品。

【請求項 5】

米糠を酸性中性媒体で抽出して得られる抽出物の酵素処理物を配合したことを特徴とする美白化粧品。

【請求項 6】

酵素処理を蛋白分解酵素によって行う請求項 5 に記載の美白化粧品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

【課題を解決するための手段】

即ち、本発明は、米糠を酸性中性媒体で抽出して得られる抽出物を配合したことを特徴とする美白化粧品、並びに米糠を酸性中性媒体で抽出して得られる抽出物の酵素処理物を配合したことを特徴とする美白化粧品である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 4 】

本発明の美白化粧品には、必須成分の米糠抽出物又はその酵素処理物の他に、通常化粧料に用いられる配合成分である油脂成分、界面活性剤、保湿剤、増粘剤、防腐殺菌剤、粉体成分、紫外線吸収剤、色素、香料等が必要に応じて適宜配合され、それら成分によってクリーム、乳液、ローション、軟膏、パック剤等適宜の剤型とした上使用に供される。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 5 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 5 9 】

【発明の効果】

本発明の酸性水性媒体による米糠抽出物又はその酵素処理物を配合してなる美白化粧品は、それら配合成分の示す強いチロシナーゼ活性抑制作用により、シミ、ソバカスなど皮膚への色素沈着を顕著に抑制或いは軽減すると共に、該配合成分が天然物由来であるため皮膚に対する刺激性が少なく安全性にもすぐれている。